

ものづくり技術

レーザー加工機導入による木製小物商品の
効率的・多品種少量生産体制の構築◎企業名 **レグナテック株式会社** ◎代表者名 代表取締役 **樺島雄大**

- 設立年月日：昭和47年9月1日 ●資本金：1,200万円
- 所在地：〒840-2106 佐賀県佐賀市諸富町山領266-1
TEL:0952-47-6111 FAX:0952-47-6113
- URL <http://www.legnatec.co.jp> ●E-MAIL oishi@legnatec.co.jp
- 従業員数：50名

◎主な業種／家具・装備品製造業 ◎担当者名／大石 聡

事業の目的

商品を生産する際に発生する端材を有効活用した新商品を開発し、材料のコスト削減及び端材廃棄処理負担の軽減、レーザー加工機による小物インテリア・ノベルティー・記念品等の新サービスを提供する。

事業の内容

▶事業取組みの経緯

弊社は、天然木の素材感を生かした収納家具類やダイニングセット、一枚板のテーブル、個人や公共施設、商業施設向けのオーダー家具の製造・販売を行っている。使用している木材は海外から輸入したウォールナット（クルミの木）やナラ、ブナなど、家具の材料としては高級な材料を多用している。材料は平板の状態で仕入れ、部材毎に加工するが、その過程で端材を排出してしまうため、専用のコンテナに集めて、定期的に業者に引き取ってもらっていたが、処理費用が大きなコスト負担となっていた。

既存家具の材料としては利用価値がない端材であるが、小物インテリア雑貨や玩具類、ノベルティー商品等の材料としては十分なサイズの良質な木材で、種類も豊富であることから、有効な資源として効率的に加工して、本格的な小物インテリア雑貨の開発に取り組むこととした。

▶実施内容

家具製造過程で生じる木材端材の処理問題について、レーザー加工機を導入することで木材端材を木製小物商品として生まれ変わらせ、木材原材料の効率的活用や端材処理コスト削減を図る家具製造事業を推進し、競争力のある効率的な生産態勢を再構築する。

実際にレーザー加工機を使用し、各木材及びガラス、プラスチック等への彫刻及び裁断等の実施を行ない、機械及び加工した試作の確認及び検証を行なった。

データ入力についてはCADデータだけでなく、スキャナで取り込んだデータ加工の確認も行った。

事業の成果

▶事業取組みの成果

レーザー加工機は、20mm前後の板厚カット、家具製造用の加工機械では対応できない曲線カットも可能となった。

また、文字や模様を書き込むことはもちろん、木材の表面を彫刻したように凹凸をつけて削ることも可能であるため、立体的な装飾が可能となる。既設の家具製造用機械の応用だけでは表現できない形状、装飾が可能となり、より付加価値の高い商品開発が可能となった。

今後の展望

○小物インテリア、玩具類、ノベルティー商品などの事業化

1. 小物インテリア

トレーや調味料等の収納などのキッチン用品、時計、携帯電話等を置くトレー等リビングやデスク回りで使用する商品を製作する。

2. 玩具類

パズルや木の板にイラストや文字を書き込んだ絵本、音が出る楽器等を商品化する。出産祝いや誕生祝いとしての付加価値を高めるため、子供の名前や誕生日をレーザーで書き込めるサービスも事業化する。

3. ノベルティー商品

観光地やイベント向けのキーホルダーやバッジ、木製しおりを商品化する。

4. その他

自社の高級家具やオーダー家具に貼る、材料や製作年月日、シリアル番号等を記載した木製プレートの商品化（例えばホテルや旅館の部屋番号や部屋の名称のプレート、食事のメニュー等）。

▶製品の内容

小物インテリア、玩具類、ノベルティー商品

